

第74集目次、はじめに

著者	盛一 純平
雑誌名	研究紀要 / 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校
巻	74
ページ	0-0
発行年	2021-03
URL	http://hdl.handle.net/2297/00062414



研 究 紀 要

第 7 4 集

目 次

はじめに	盛一 純平	
研究概要	福田 晃	2

Society5.0 を豊かに生きる資質・能力の育成

— 多様性を生かす汎用的能力の育成 —

実践事例

国語科	中山 典子・清水 義之	14
社会科	中江 転・井南 亮佑・山岸 哲学	18
算数科	長谷川勝浩・山口 友美・岡本 光司	24
理 科	宮崎 雅行・横川 竜也・森田健太郎	30
生活科	和田 紀子・早川 佳奈	36
音楽科	徳田 典子・本多 春奈	40
図画工作科	野島 慎二・中川 佑紀	44
家庭科	馳 裕紀子	48
体育科	稲垣 宏樹・出嶋志津子・中前 裕佳	50
道徳科	片桐 優美	56
外国語	乗富 智子	58
総合・情報教育	福田 晃	60
A 領域 コミュニケーション領域事例		63
B 領域 カリキュラムマネジメント領域事例		79
C 領域 GIGA スクール構想領域事例		89
研究成果		97
おわりに	松井知佳子	104

令和3年（2021年）3月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校

はじめに

今年度は新型コロナウイルス感染症により社会全体が翻弄された一年となりました。皆々様も感染予防対策に多大なご苦勞の毎日をお過ごしのことと存じます。

本校でも4、5月の休業、6月からの分散登校、その後現在に至るまでの時差登校など、多方面にわたり感染予防対策をとってきました。そのため授業はもとより、学校行事等にも大きな影響をうけてしまい、一つ一つ日常を確かめながらの日々がつづきました。しかしながらその困難な状況の中でも子どもたちは、互いに手を取り合い、新しい形で行事を実現させたり、ICT活用で効率をあげたりと創造力と実行力を発揮し前を向いてきました。そのような子どもたちの姿には明るい未来を感じました。それとともに私達の研究も止めることなく、従来にとらわれない今できる新しい方式で進めてきました。

金沢大学附属学校園では、5校園が「Society5.0を豊かに生きる資質・能力の育成」を共通テーマに5校園の連続性を生かして研究に取り組んでいます。その中で本校の研究は、学校教育目標「共に生きる力・多様性の活用力の育成」をもとに、今年度から「多様性を生かす汎用的能力の育成」を研究テーマに掲げています。今後増々見通しにくい未来に生きる子たちには、取り組むべき課題を自ら設定し、未来を見据えて有効な解決策を創り出す力、すなわち「創造的な課題発見・解決力」が必要になってきます（「未来の教室」経産省）。そのためには単一教科にこだわることなく教科を横断する汎用的な能力の育成が増々必要になってくると考えます。本研究では、未来に生きるために必要なさまざまな汎用的能力から、有効な能力を特化し、いかにその能力を育成するか、汎用化するか実践を重ね、効果を検証してきました。

また今年度は、従来のように教育研究発表会を通して成果をお伝えし意見交換するのではなくWeb上に教育実践プラットフォーム「#We CREATE」をたちあげ全国の学校からの教育実践を共有し知見を広める新たな研究の在り方にも挑んでいます。

私たちは、未だ新型コロナウイルスは終息の兆しが見えませんが、この難局を乗り越え、希望ある未来へ共に歩みつづけていきたい思いです。

最後になりましたが、本校の教育・研究推進にあたり、ご指導、ご助言をいただきました多くの皆様に心より御礼申し上げます。

また今後とも一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和3年1月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校長
盛一 純平